

市第84号議案～市第86号議案
 青少年施設等の指定管理者の指定について

1 施設名称、指定候補者及び指定期間（各施設の概要は別紙）

(1) 青少年施設の指定管理者の指定（市第84号議案）

- ア 施設名称：横浜市野島青少年研修センター
 指定候補者：公益財団法人よこはまユース
 （指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日 ※5年間）
- イ 施設名称：横浜市青少年育成センター
 指定候補者：公益財団法人よこはまユース
 （指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日 ※5年間）

(2) 横浜市青少年野外活動センターの指定管理者の指定（市第85号議案）

- 施設名称：横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター・横浜市こども自然公園青少年野外活動センター・横浜市くろがね青少年野外活動センター（3施設一体公募）
 指定候補者：公益財団法人横浜市スポーツ協会
 （指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日 ※5年間）

(3) 横浜こども科学館の指定管理者の指定（市第86号議案）

- 施設名称：横浜こども科学館
 指定候補者：CTC共同事業体（代表企業：株式会社コングレ）
 （指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日 ※5年間）

2 指定候補者の選定及び評価方法

- (1) 選定方法
 書類審査・プレゼンテーション・ヒアリング
- (2) 応募資格確認
 公募要項上の応募資格及び欠格事項等の確認
- (3) 評価方法
 基本方針・管理運営・事業計画等について、評価基準に基づき、総合的に評価を行いました。

3 指定候補者選定の経過

選定経過	野島青少年研修センター 青少年育成センター	青少年野外活動センター	横浜こども科学館
第1回選定評価委員会			
① 選定スケジュール	令和3年5月13日	令和3年5月27日	令和3年5月26日
② 公募要項・業務の基準			
公募書類の配布	令和3年6月11日 ～7月30日	令和3年6月11日 ～7月30日	令和3年6月11日 ～7月30日
応募書類の受付	令和3年7月26日 ～7月30日	令和3年7月26日 ～7月30日	令和3年7月26日 ～7月30日
第2回選定評価委員会			
① 公開プレゼンテーション	令和3年9月24日	令和3年9月29日	令和3年9月8日
② ヒアリング			
③ 指定候補者の選定			

4 選定評価委員会委員

(1) 野島青少年研修センター、青少年育成センター

- 委員長 福田 幸男 (横浜国立大学 名誉教授)
 委員 内海 宏 (特定非営利活動法人 まちづくり情報センターかながわ 理事長)
 為崎 緑 (中小企業診断士)
 辻 弘枝 (社会福祉士・認定心理士)
 山崎 直宏 (横浜市青少年指導員連絡協議会 副会長)

(2) 青少年野外活動センター

- 委員長 福田 幸男 (横浜国立大学 名誉教授)
 委員 北見 明子 (レクリエーションコーディネーター)
 佐藤 初雄 (特定非営利活動法人 国際自然大学校 理事長)
 為崎 緑 (中小企業診断士)
 宮崎 弘一 (日本ボーイスカウト神奈川連盟 みなと地区協議会 監事)

(3) 横浜こども科学館

- 委員長 北村 克久 (星槎大学 非常勤講師・一般社団法人横浜すばいす 代表理事)
 委員 為崎 緑 (中小企業診断士)
 本田 隆行 (科学コミュニケーター)
 三上 勇夫 (洋光台まちづくり協議会 会長)
 森 祐美子 (特定非営利活動法人 こまちぷらす 代表)

5 指定候補者選定結果

指定管理施設	指定候補者(第1位)	点数	次点候補者(第2位)	点数
野島青少年研修センター	(公財)よこはまユース	671		
青少年育成センター	(公財)よこはまユース	649		
青少年野外活動センター	(公財)横浜市スポーツ協会	877.5		
横浜こども科学館	CTC共同事業体	898.5	ヤオキン・小田急ビルサービス共同事業体	703

※いずれの施設も第1位の応募団体が最低基準点を上回ったため、指定候補者となりました。

※最低基準点は、各委員配点 200 点 (加減点項目除く) の 5 人合計 1,000 点の 6 割の 600 点としました。

※野島青少年研修センターと青少年育成センターは、評価委員が 1 人欠席だったため、最低基準点は 480 点になります。

※CTC共同事業体の構成企業は、株式会社コングレと株式会社東急コミュニティーです。

<参考>現在の指定管理者について

指定管理施設	現指定管理者
野島青少年研修センター	(公財)よこはまユース
青少年育成センター	(公財)よこはまユース
青少年野外活動センター	(公財)横浜市スポーツ協会
横浜こども科学館	コングレ・NTTファシリティーズ共同事業体

青少年施設等の概要

1 青少年施設

青少年の健全育成を図ることを目的に設置

施設名称	施設概要	指定管理料 (2年度)	延利用者数	
			元年度	2年度
①横浜市野島青少年研修センター	金沢区野島2-4-2 3,967㎡ 昭和53年設置(平成5年移転改築) 宿泊室(200人)、食堂、研修室、和室等	78,427千円	33,459人	2,565人
②横浜市青少年育成センター	中区住吉町4-4-2-1 1,307.47㎡ 昭和61年設置(関内ホール地下) 研修室、ミーティングルーム、和室、スタジオ等	46,304千円	50,857人	19,625人

2 青少年野外活動センター

青少年に自然環境における共同生活の場を提供することにより、その心身の健全な発達を図ることを目的に設置

施設名称	施設概要	指定管理料 (2年度)	延利用者数	
			元年度	2年度
①横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター	神奈川区三ツ沢西町3-1 1,150㎡ 昭和57年設置 宿泊室(150人)、プレイホール、食堂、炊事場等	25,866千円	22,772人	1,809人
②横浜市こども自然公園青少年野外活動センター	旭区大池町6-5-1 1,489㎡ 平成元年設置 宿泊室(150人)、食堂、炊事場、集会場等	29,019千円	19,082人	4,919人
③横浜市くろがね青少年野外活動センター	青葉区鉄町1-3-80 400㎡ 昭和57年設置 宿泊室(50人)、食堂、炊事場、テント広場等	24,395千円	33,748人	9,389人

3 横浜こども科学館

科学に関する資料及び装置の展示等を行うことにより、青少年の科学に関する知識の啓発を図り、創造性豊かな青少年の育成に寄与することを目的に設置

施設名称	施設概要	指定管理料 (2年度)	延利用者数	
			元年度	2年度
横浜こども科学館	磯子区洋光台5-2-1 6,486.26㎡ 昭和59年設置 宇宙劇場、特別展示室、宇宙研究室等	205,970千円	275,409人	82,773人